

【資料1】

2017年9月18日付 毎日新聞ホームページ

<https://mainichi.jp/articles/20170919/k00/00m/040/029000c>



[PR] すぐ審査に通る銀行ローンは？一括比較で即審査

幼稚園

関連ニュースはこ

2歳児受け入れへ 「一時預かり」新設

毎日新聞 2017年9月18日 19時00分 (最終更新 9月19日 16時45分)

社会 > 話題 > 速報 >

[PR]

広告は Google により終了しました

18年度から 待機児童を解消で

文部科学省と内閣府は、認可保育所などに入れない待機児童を解消するため、来年度から、3～5歳児が通う幼稚園で2歳児の受け入れを認める方針を決めた。待機児童の多くは0～2歳で、2歳児を対象に長時間の「一時預かり」の枠を新たに設け、保育士の人件費などの運営費を補助する。来年度予算の概算要求で、関連費用を盛り込むよう財務省に求めている。

幼稚園は通常、3～5歳児を午前中から午後2時ごろまで預かる。夕方5時ごろまで「一時預かり」を実施しているところもあるが、保育所に比べて短時間のため、保護者が共働きの場合は利用しづらい。

文科省などは、幼稚園で3～5歳の幼児教育とは別に、保育ニーズに対応するため、2歳児を1日8時間程度預かることができるようにする。夏休みなどの長期休暇や、子どもが3歳になった後も継続し、保護者が新たに保育所を探さなくても済むようにする。利用料は保育所など他の保育サービスと同水準になる見込み。

2歳児を受け入れる幼稚園は職員配置の基準を緩め、保育士を新たに多数雇用しなくても運営できるよう検討する。

政府は2020年度末までに待機児童をゼロにする目標を掲げているが、今年4月時点で約2万6000人に上り、0～2歳が9割近くを占める。このうち2歳児であれば幼稚園児と年齢が近く、活動になじみやすいことから、受け入れが可能だと判断した。

待機児童解消に効果があると期待され、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」は今年4月時点で5081園。前年より1080園増えたものの、もともと保育所だったところが移行したケースが多く、思うような保育の受け皿拡充につながっていない。（共同）